

第7回日本大学先端バイオフィォーラム

日 時：平成23年12月17日（土）9:00-17:10

会 場：日本大学桜門会館

参加費：無料（どなたでもご参加いただけます）

代表幹事：福田 昇（大学院総合科学研究科）

◆ 日本大学バイオ研究の情報交換（73演題）

生物資源科学部26題，医学部21題，理工学部6題，生産工学部5題，
薬学部4題，松戸歯学部3題，歯学部2題，総合科学研究科3題，文理学部1題，
短期大学部2題

◆ ワークショップ「日本大学のバイオイノベーションの戦略

<プログラム>

9:00 開会の辞：福田 昇

9:04 □演Ⅰ【細胞・再生】 座長：松本太郎（医学）

- ・脱分化成熟脂肪細胞(DFAT)による進行性腎障害の細胞治療の開発。丸山高史（医学）
- ・HCVの非構造タンパク質4B(NS4B)と細胞内脂肪滴との相互作用。田中寅彦（医学）
- ・ヒト成体細胞による歯の再生方法の確立。本田雅規（歯学）
- ・生物資源、乳腺発達過程において脂肪細胞を含む間質細胞は実質細胞へと分化転換する。加野浩一郎（生物資源科学）
- ・vitro/vivoシャトル型3次元細胞培養チャンバー。野呂知加子（生産工学）

□演Ⅱ【ゲノム】 座長：上野高浩（医学）

- ・ABCA1 遺伝子をターゲットとしてHDL上昇効果を示す新規薬物（PIポリアミド）の開発。上野高浩（医学）
- ・ピロール・イミダゾール(PI)ポリアミドを用いた前立腺癌に関連する融合遺伝子発現抑制の検討。大日方大亮（医学）
- ・ゲノムプロファイル法による昆虫病原細菌の系統関係の再検討。畠山吉則（生物資源科学）

10:40 ワークショップ「日本大学のバイオイノベーションの戦略」

討論者：金澤良弘，西尾俊幸，大月 穰，尾股定夫，松本太郎，福田 昇

12:10 昼食・ポスター討論（サンドイッチとお飲み物をご用意いたします）

13:00 □演Ⅲ【物質・材料】 座長：大月 穰（理工学）

- ・単一細胞へのFEL顕微照射系の開発と照射実験。宍倉文夫（医学）
- ・走査型電子顕微鏡を用いて培養液中で生きている細胞をナノメートルサイズの空間分解能で観察する技術の開発。東條 正（文理学）
- ・酸性硫酸塩土壌から分離されたアルミニウム耐性菌のアンモニウムトランスポーターの解析。光澤 浩（生物資源科学短期）
- ・FEL-LIFTによる生体硬組織上へのバイオマテリアル描写。胡桃 聡（理工学）
- ・膜マイクロドメイン画分の複合糖質の構造解析法確立。鈴木佑典（理工学）

14:00 感染症シンポジウム特別講演（日本学会館 2F大講堂）

ポスター閲覧

16:10 □演Ⅳ【医療・薬剤・創薬】 座長：権 寧博（医学）

- ・歯周病原菌複合培養物に対する鶏卵抗体(IgY)の歯周病リスク低減効果の検証。平澤正知（松戸歯学）
- ・気道上皮バリア制御因子の同定と新たな粘膜免疫抑制薬の開発。権 寧博（医学）
- ・抗がん剤耐性の進行性膵管癌に対する抗体医薬の開発を目指して。佐野 誠（医学）

16:46 □演Ⅴ【生物・植物】 座長：野呂知加子（生産工学）

- ・タンパク質の安定的発現を可能にするDP-1 Stabilonモチーフの応用とその分解機構に関する研究。舩廣善和（生物資源科学）
- ・ラット唾液腺のAQPタンパク質の解析。成田貴則（生物資源科学）

17:10 閉会の辞：齋藤 烈（工学）

18:00 感染症シンポジウム合同情報交換会（アルカディア市ヶ谷） 挨拶：大塚吉兵衛 総長

<事務局連絡先>

医学部リサーチセンターB1 tel.03-3972-8111 PHS8546 email.katakawa.mayumi@nihon-u.ac.jp